

## 令和2年度 第4回理事会議事録

### 1. 開催日時及び場所

(1)開催日時 令和3年3月17日(水) 15時00分～16時06分

(2)開催場所 遠藤専務理事自宅

(3)開催形式 web会議システム「Zoom」による開催

<https://zoom.us/j/97220238468?pwd=d3Y0bG9ZQjF1TDdmcFhXZVhaWG1yUT09>

ミーティングID: 972 2023 8468 (今回1度きりのID)

パスコード: 232812 (今回1度きりのパスワード)

議長代理の遠藤専務理事は開催場所から出席し、当該開催場所に存しない理事及び監事は各自の居場所から上記の web 会議システムにより出席した。

なお、事務局の小定弘和、安田みお は、財団事務所より理事会に参加した。

### 2. 理事数及び出欠理事数

(1)理事数 10人

(2)出席理事数 8人

(3)欠席理事数 2人

### 3. 出欠理事の氏名

出席者:遠藤守、稲田伊彦、麻生茂、上垣内茂樹、高田正隆、虎野吉彦、中澤孝、室山哲也

欠席者:松本晟、藤島豊久

### 4. 出席監事の氏名

富田力夫、棚橋秀行

### 5. 事務局の氏名

小定弘和、安田みお(議事録作成)

### 6. 審議事項

第1号議案 令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について

第2号議案 テレワーク規程(案)について

第3号議案 2021年度からのYAC活動委員会のミッション案について

### 7. 報告事項

(1) 令和2年度決算見込みについて

### 8. 議事の経過の要領及びその結果

事務局小定が zoom ホストとして、web会議システムにアクセスする出席者全員を受入れた後、遠藤専務理事により、一人ひとりに、音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、相互に十分な議論を行うことができる環境であることを確認した。

#### (1) 理事会開会宣言

遠藤専務理事より、松本理事長の欠席を受け、理事会運営規則第6条に基づき、議長代行として議長を務める旨の説明を行い、理事会開会を宣した。

#### (2) 出席者と定足数の報告

遠藤専務理事より、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立している旨を報告した。

(3) 本日の資料確認

事務局 安田より、昨日メールでお送りした理事会資料について確認を行った。

(4) 令和2年度第2回理事会議事録確認

遠藤専務理事より、令和2年度第3回理事会議事録について確認したところ、特に意見等なく承認された。

(5) 審議事項

**【第1号議案】 令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について**

事務局 小定より、資料No.1に基づき、令和3年度事業計画(案)について説明を行った。

続いて、事務局 安田より、資料No.1に基づき、収支予算書(案)について説明を行った。

遠藤専務理事より、第1号議案について、意見を求めた。

棚橋監事より、種子島スペースキャンプも実際できるか分からない中で計画に入れるのであれば、アメリカスペースも入れておくべきでないか、との意見があった。

また、令和3年度収支予算書(案)の支出のうち、令和2年度と比べて賞与が下がっているのは何故か、との質問があった。

遠藤専務理事より、アメリカスペースキャンプについて、去年はコロナ感染拡大によりキャンセルとなった。この時のキャンセル料は全額 YAC 負担となり赤字の要因でもあった。アメリカは一度予約してしまうとほとんど返金されないことを見極め、現状ではまだ無理して計画しない方が良さだろうと事務局側で話し合い、令和3年度の事業計画(案)には入れていない旨、説明を行った。

続いて、事務局 安田より、昨年度より団員の減少が止まらないことを受け、約15%削減を想定し収支計画書(案)を作成しており、支出の職員賞与も削減対象とした旨、説明を行った。

これに対し、棚橋監事より、毎年予算が減っていくからといって、職員給与や賞与も減らしていくという財団運営の在り方では、組織として成り立っていかないので、今年度は予算通りに賞与は支給するとし、この問題は理事会でも継続して議論していく必要があると思う旨、意見があった。

室山理事より、団員減少の要因は、少子高齢化によるものなのか、その予想される原因について質問があった。

これに対し、事務局 小定より、毎年約 100 名ずつ少子高齢化の影響を受けて減っていることに加えて、今年度はコロナ感染拡大で分団活動ができないことも要因となり、約 300 名程度減少している。また、ここ数年は、新規分団の結成がないのも減少の原因の一つである旨、説明を行った。

麻生理事より、追加として、コロナ禍でオンライン活動を行っているところもあるが、まだ数が少ないという実態やこれまでの活動の場所が使えなくなったということも大幅な団員減に繋がっている理由と考える旨、説明があった。

遠藤専務理事より、様々なコメントを受け、今年度はオンラインイベントもいくつか駆使して実施してきたが、次年度は独自イベントのプログラムを強化していく必要があると感じている旨、意見があった。

上垣内理事より、財団で分団のオンライン活動のシステムについて支援できると分団活動も活発になるのではないかと感じる旨、意見があった。  
また、YAC の歴史もここまで来ているので、様々な分野で活躍する OB や OG に名乗り出てもらい、

活動にお手伝いいただける人材にお願いするのも一つのアイデアである旨、意見があった。

室山理事より、ロボコンは30年の歴史があり、OB や OG も活躍して相乗効果を生み出している。日本宇宙少年団も教育という分野ではなかなか成果が見えづらいところもあるかもしれないが、OB/OG を発掘し、また戻ってくるというループをつくることによって、人材が育って実を結んでいる成果を見せれるようにするのが良いと思う旨、意見があった。

中沢理事より、上垣内理事や室山理事の意見に賛同である。財団に会費を払って YAC 団員となる魅力を UP するようなコンテンツづくりが重要であると思う旨、意見があった。

遠藤専務理事より、今後の強化策については、別途意見交換の場を設けることを述べ、第1号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

### 【第2号議案】テレワーク規程（案）について

事務局 小定より、資料No.2に基づき、第一条より読み上げ、先に虎野理事よりコメントいただいた条項箇所については、修正する旨、説明を行った。

なお、第5条の事務局長に承認を得る方法として、事務局回答は、「口頭もしくはその他の通信手段で」としていたが、口頭での申請や指示は記録に残らないため、「情報通信機器を利用して記録が残る方法により」とする内容を、再度事務局内で検討したい旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、第5条の最終文案は、専務理事に一任いただくことで第2号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

### 【第3号議案】2021年度からのYAC活動委員会のミッション案について

麻生理事より、資料No.3に基づき、2021年度からのYAC活動委員会のミッション案についての説明および関連する参考資料1と参考資料No.2について説明を行った。

遠藤専務理事より、第3号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

## (6) 報告事項

事務局 安田より、資料No.4に基づき、令和2年度決算見込みについて説明を行った。

なお、黒字になる場合は、収支相償が不適合になり、本来であれば特定費用準備資金として公益目的事業の計画を立てる等の策を講じなければならないが、内閣府による「法人運営に関するお知らせ」では、今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、単年度収入が費用を上回ってもその状況を斟酌することが書かれている。次年度も新型コロナウイルス感染拡大が予測できないことから、不測の事態に備え、財団運営を維持していくために必要な資金として翌年度繰越をさせていただくことを次回理事会でご審議いただきたい旨、説明を行った。

## (7) その他

次回の理事会及び評議員会の日程を確認し、理事会は6月2日(水)に決定した。

高田理事より、ホームページを新しくすることによって、寄付金の増額が図れるのではないかとの意見があった。

遠藤理事より、以上をもって全議案審議を終えたことを述べ、閉会を宣して令和2年度第4理事会は16時06分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長代理並びに出席した監事は記名押印する。

以 上

令和 3年 3月 17日

(議長代理)  
専務理事 遠藤 守 (押印済)

監 事 富田 力夫 (押印済)

監 事 棚橋 秀行 (押印済)